

マインドマップ検定名称変更のご報告

－ 「マインドマップ検定」 から 「記憶力・整理力検定」 へ －

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、当協会にて実施しております「マインドマップ検定」の名称について、平成23年9月1日を以って、「記憶力・整理力検定」へと名称変更することになりましたことご報告申し上げます。

今回、検定名称の変更をした一番大きな理由としましては、公益法人として本検定の本来の意義を再確認し広く一般に広めていく為です。そのため、本検定の意義をより明確にするために、「マインドマップ」という名称や手法にフォーカスするのではなく、マインドマップ以外も含め有効な手法を活用することで得られる能力を伸ばすことに焦点をあてた検定として、より広く日本中に認知いただけるように、名称変更を行うこととなりました。全国連合小学校長会、全国市町村教育委員会連合会から引き続きご後援をいただくとともに、当協会自体が公益社団法人としての認定を受けたことに伴いまして、より公で格式の高い検定として位置付け、普及させていく所存です。

今後の「記憶力・整理力検定」においては、問題自体にもマインドマップの配点部分を削除するなどの変更を加えてまいります。一方で、マインドマップにおいては、本検定での評価を経て、「記憶」や「整理」に有効な手法であるということがより客観的な裏付けの元で示されることとなるでしょう。マインドマップの効果に対する裏付けは、その特徴や強みに関する明確な評価や研究につながると考えております。

本来、「マインドマップ検定」は、マインドマップを上手にかくことを目的とする検定ではなく、マインドマップを活用することによって得られる「記憶力」と「整理力」を測定・評価することを目的としておりました。改めて説明するまでもございませんが、本検定で評価される「記憶力」や「整理力」は、人間の思考をつくり上げる記憶と、情報をまとめ伝えるための整理の能力であり、この2つの能力は、私たちが物事を学ぶ基礎となる「学び力」そのものです。そして、本検定を広めることは、学び方を学び、学ぶ楽しさに気づいた子どもたちが「学び力」という武器をもって成長することにつながります。このような子どもたちが大人へと成長することは、将来の日本全体の力を底上げになると考えております。

今後、当協会は、本検定はもとより新しい資格制度・検定制度を通じて、子どもたちに将来の世界を生き抜く「学び力」を与え、日本の力の底上げを図るための活動を積極的に推進して参ります。引き続き、ご支援・ご指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

公益社団法人学び力育成協会
理事長 小林 司朗